

英 語

1 構 成 員

	平成11年3月31日現在	平成12年3月31日現在
教授	1人	1人
助教授	1人	1人
助手（うち病院籍）	0人（人）	0人（人）
大学院学生（うち他講座から）	0人（人）	0人（人）
研究生	0人	0人
外国人教師	1人	1人
技官	0人	0人
その他（技術補佐員等）	0人	0人
合計	0人	0人

非常勤講師	1人	1人
-------	----	----

2 教官の異動状況

大木 俊夫（教授）（期間中現職）

菱田 治子（助教授）（期間中現職）

3 研究業績

	平成10年度	平成11年度
原著論文数（うち邦文のもの）	1編（0編）	0編（編）
そのインパクトファクター合計	0	0
論文形式のプロシーディングズ数	0編	0編
総説数（うち邦文のもの）	0編（編）	0編（編）
そのインパクトファクター合計	0	0
著書数（うち邦文のもの）	0編（編）	0編（編）
症例報告数（うち邦文のもの）	0編（編）	0編（編）
国際学会発表数	0編	1編

(1) 原著論文（当該教室所属の人全部に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

Hishida H (1999) Instability of self-identity found in code-switching. 浜松医科大学紀要第13号：59-69

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
大木俊夫，藤枝宏寿：医学英語を教えるための教材 医学教育 第29巻6号419-424 1997
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
森下直貴，倉持 武，窪田 倭，大木俊夫 訳 臓器交換社会 青木書店 1998
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

れるもの

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
- D. 筆頭著者、共著者とも浜松医科大学に所属していなかったが、当該教室に所属する者が含まれるもの

(6) 国際学会発表

Hishida H, Goto I, Ohtsuka Y, Mori Y (1999) A survey of English loanwords in Japanese advertising.

12th World Congress of Applied Linguistics, August, Tokyo.

4. 特許等の出願状況

	平成10年度	平成11年度
特許取得数（出願中含む）	0件	0件

〔平成10年度〕

〔平成11年度〕

5 医学研究費取得状況

	平成10年度	平成11年度
文部省科学研究費	1件 (60万円)	1件 (50万円)
厚生省科学研究費	0件 (万円)	0件 (万円)
他政府機関による研究助成	0件 (万円)	0件 (万円)
財団助成金	0件 (万円)	0件 (万円)
受託研究又は共同研究	0件 (万円)	0件 (万円)
奨学寄附金その他（民間より）	0件 (万円)	0件 (万円)

〔平成10年度〕

(1) 文部省科学研究費

菱田治子（代表者）基盤研究（C）「医学英語論文における誤文の分類別データ分析」60万円（新規）

- (2) 厚生省科学研究費
- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究又は共同研究

[平成11年度]

- (1) 文部省科学研究費
菱田治子（代表者）基盤研究（C）「医学英語論文における誤文の分類別データ分析」50万円
（継続）
- (2) 厚生省科学研究費
- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究又は共同研究

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

[平成10年度]

[平成11年度]

7 学会活動

	平成10年度	平成11年度
招待講演回数	0件	0件
国際・国内シンポジウム発表数	0件	0件
学会座長回数	2件	2件
学会開催回数	0件	1件
学会役員等回数	2件	2件

[平成10年度]

- (1) 学会における特別講演・招待講演
- (2) 国際・国内シンポジウム発表

(3) 座長をした学会名

大木俊夫 第1回日本医学英語教育学会, 1998年7月, 浜松

菱田治子 第1回日本医学英語教育学会, 1998年7月, 浜松

(4) 主催する学会名

(5) 役職についている学会名とその役職

大木俊夫 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 日本医学英語教育学会 理事

[平成11年度]

(1) 学会における特別講演・招待講演

(2) 国際・国内シンポジウム発表

(3) 座長をした学会名

大木俊夫 第2回日本医学英語教育学会, 1999年8月, 東京

菱田治子 第29回中部地区英語教育学会, 1999年, 6月, 静岡

(4) 主催する学会名

菱田治子 第29回日本コミュニケーション学会, 1999年6月, 浜松

(5) 役職についている学会名とその役職

大木俊夫 日本医学英語教育学会 理事

菱田治子 日本医学英語教育学会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	平成10年度	平成11年度
学術雑誌編集数	0件	0件

[平成10年度]

[平成11年度]

9 共同研究の実施状況

	平成10年度	平成11年度
国際共同研究	0件	0件
国内共同研究	0件	0件
学内共同研究	0件	0件

[平成10年度]

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

[平成11年度]

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

10 産学共同研究

	平成10年度	平成11年度
産学共同研究	0件	0件

[平成10年度]

[平成11年度]

11 受賞 (学会賞等)

[平成10年度]

[平成11年度]

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

平成3年7月から実施された大学設置基準の一部改正に伴い、わが国の大学学部教育では教養教育と専門教育の壁が取り払われて来ている。このことは外国語教育・研究にも反映し、専門分野における英語の教育・研究が活発に行われ、海外でもESP (English for Specific Purposes) などの学会が誕生していることを考えるとその必要性はますます高まっていると考えられる。本研究は、我々がこれまで添削してきた相当数の医学関係英語論文を資料にして、そこに見られる共通の誤用法を明らかにする。”さらに実際の論文執筆者である医学研究者たちは、実際に卒業後どの程度英語で問題をかかえているかをアンケートによって調査する。アンケートの回答の結果からESPとしての医学英語のあり方を具体的に模索する。

米国の医療過誤対策調査・研究書 (A Measure of Malpractice. Harvard University Press)の翻訳、現在、本文訳了。これからnotesの訳に取りかかる。

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

中日新聞 1999年5月28日 臓器交換社会

読書人 1999年7月30日 「命のリレー」の果て

週刊ポスト 1999年6月4日 移植医療の重い現実とは

週刊現代 1999年6月19日 特選ノンフィクション：生存率，当事者の心理，調達の倫理など医療現場の内側から移植の本質を問う